

平成26年8月7日

河内長野市  
南海電気鉄道株式会社  
NPO法人ノーベル

河内長野市の子ども・子育て総合センターあいっくに集うママたちと協力し  
**ハンドブック「子連れおかの防災サバイバル手帳」**  
を制作いたしました。

河内長野市（市長：芝田啓治）、南海電鉄（社長：亘 信二）、NPO法人ノーベル（代表：高 亜希）は、河内長野市の子ども・子育て総合センターあいっくに集う震災未体験のママたちと共同で、災害時に役立つハンドブック「子連れおかの防災サバイバル手帳」を制作しました。

この冊子は、もしもの時に子どもを守る為になにをすればいいかを子育て中のママの視点からまとめたもので、今すぐ実践し備えができるよう、母子手帳にはさみこめるサイズになっています。

河内長野市と南海電鉄では、「教育・子育て支援」などについてお互いが連携して協力する基本協定を平成23年5月に締結しています。また、NPO法人ノーベルは、大阪市内ほかで地域密着型病児保育事業を展開し、子育てに関して豊富なノウハウを有しています。

河内長野市では、三日市町駅前のフォレスト三日市内にある乳幼児健診センターで実施する4か月健診受診の際やあいっくを利用される同市在住の就学前の子どもの保護者に対し、あいっくの職員が直接説明をしたうえで本ハンドブックを配布し、もしもの時に親子が落ち着いて行動ができるように、支援していきたいと考えています。

詳細は、別紙のとおりです。

### 1. ハンドブックについて

名称	子連れおかんの防災サバイバル手帳
発行者	河内長野市
制作・著作	南海電気鉄道株式会社
協力	NPO法人ノーベル、 子ども・子育て総合センターあいつくに集うママたち
監修	紅谷 昇平氏（神戸大学 特命准教授・河内長野市市政アドバイザー）
発行部数	3,000部
サイズ	143ミリ×100ミリ カラー 16ページ
特色	母子手帳にはさめるサイズの「子連れママ参加型の防災ハンドブック」となっており、震災未体験のママたちのリアルな疑問を掲載し、読者にも気づきと共感とリアリティを与えられるような構成・内容となっています。ハンドブックの中では、未体験ママとしてクマのキャラクターと、そのママの疑問に答えていく先生となる九官鳥が登場。このクマと九官鳥のやりとりは、実際に河内長野市に在住する震災未体験のママたちとワークショップを実施し、そこから生まれた知恵を専門家のアドバイスを得てまとめられています。
配布場所等	乳幼児健診センターで実施する4か月児健康診査時と同市在住の就学前の子どもの保護者で、希望する方には同市子ども・子育て総合センターあいつくにて配布。



表紙



中面（一部）

## 2. 「子連れおかの防災サバイバル手帳 普及プロジェクト」について

本プロジェクトは、南海電鉄とNPO法人ノーベルが、子育て中のママたちの防災知識や意識向上を目指して実施しているものです。いざ自分のまちで大きな地震が起きても、小さい子どもを抱えながら避難できるように、①日頃から問題意識をもって、②事前に準備をし、③子どもと家族を守ることに活用できるハンドブック「子連れおかの防災サバイバル手帳」の普及活動を推進しています。本ハンドブックは、実際に震災が起きたときに対応すべき順番、必要な情報を掲載し、これらすべてを1分1秒単位で判断・実践を意識できるような構成にし、母子手帳にはさんで何度も読み返すのに最適な情報量となっています。なお、本プロジェクトは、第8回キッズデザイン賞「子ども視点の安全安心デザイン」（一般部門）に選出されています。詳しくは、本日（平成26年8月7日）発表資料「『子連れおかの防災サバイバル手帳 普及プロジェクト』が第8回キッズデザイン賞を受賞しました。」をご参照ください。

## 3. 河内長野市と南海電気鉄道株式会社の連携協力について

両者は、相互に持つ資源やノウハウを活用しながら、「まちづくり」「教育・子育て支援」「定住・転入の促進」「観光振興」の4つをテーマに連携して協力する基本協定を平成23年5月に締結しています。

## 4. 河内長野市 子ども・子育て総合センターあいくについて

所在地 大阪府河内長野市本町24番1号

ノバティながの北館5階

オープン 平成24年10月27日（土）

河内長野市では、「子育てにやさしいまち」をめざして、子どもたちの育ちと父親・母親の子育てを応援しています。

その施策の一環として、子育て家庭に対する育児支援及び子どもの健全な育成への支援を行うことにより、子どもを地域全体で守り、育む基盤を総合的に整備するために設置しました。

同市では、この子ども・子育て総合センターあいくと子育て支援センターちよだだいの2箇所のセンターで、市内在住の就学前までの子どもを育てる家庭を応援するために、様々な子育て支援事業を行っています。

子ども・子育て総合センターあいくでは、子育て支援事業の他に、①家庭児童相談室事業、②幼児健全発達支援事業、③ファミリー・サポート・センター事業、④一時預かり事業ピーチルーム、⑤子ども交流ホール管理・運営事業の事業も行っていきます。

### あいくの名称について

公募により決定したもので、「愛育」という言葉を親しみやすく表現し、子どもを愛し育てていきたいとの願いを込めたものです。

## 5. NPO法人ノーベルについて

NPO法人ノーベルは、子どもを産んでも当たり前前に働き続けられる社会を実現するために、2009年4月に設立。子どもの急な発熱にも100%対応する地域密着型病児保育事業を大阪市、吹田市、東大阪市で展開しています。

公式サイト <http://nponobel.jp/>

以上